

林業作業 その4

枝打ち

節のない上質な木に育てるために、余分な下枝を切り落とします。

死に節

枯死した枝の付け根は樹皮を巻き込みながら生長するため材と結合していない。節が抜けることも。



生き節

枝打ちして枝の付け根が生きているうちに幹に取り込まれると節は材と結合する。



枝打ちの方法

細い枝

ここを切る

枝座は残す



太い枝

- ① 枝先を落とす
- ② 枝の付け根の下に切れ込みを入れる
- ③ 枝座を残して落とす

枝打ちの意義

- ・直径や年輪幅を単木的に制御
- ・完満な材の生産
- ・無節、死に節のない材の生産
- ・林内の光環境の調節
- ・病虫害の防除
- ・林内の見通しを良くし、作業をし易く